

令和8年度(2026年度) 給付型奨学金

※大学経由で申請の場合、申請期限は募集要項に記載されている提出期限より早く設定されていますのでご注意ください。

2026/10/22

No.	募集团体名等	対象学生 ※2026年度時	応募資格等 ※詳細は募集要項を確認してください	募集人員	支給額 ※括弧内は給付期間	申請期限	応募方法	募集要項・願書等の取得 (財団等HPへのリンク)	留意事項
48	交通遺児育英会	学部生 大学院生	・保護者等が交通事故で死亡したり、重い後遺障害を負った家庭の子で、現在大学・大学院に在学している学生（在学応募）、もしくは令和7年4月に進学予定の学生（予約応募） ※後遺障害の規定については募集要項を参照すること ★他の奨学金との併用可	学部300人 大学院20人	貸与(無利子)+給付 学部：月額4万円～6万円(うち2万円は給付、残り貸与) 大学院：月額5万円～10万円(うち2万円は給付、残り貸与)	在学応募： 2026/10/31 予約応募： (1次) 2026/8/31 (2次) 2027/1/31	直接応募	財団等ホームページに掲載	・在学証明（兼推薦書）については大学で作成します。提出書類を全て揃えた状態で奨学支援窓口にお持ちいただき、在学証明（兼推薦書）の発行依頼をしてください。 ※窓口への提出期限 ・在学応募：2026/10/16 ※大学院生は提出不要
37-4	キーエンス財団 【大学院（修士課程）対象】	学部4年	・学部4年生（2027年4月に大学院博士前期課程、専門職大学院に入学する者） ・2027年4月1日時点で24歳以下である者 ★他の給付型奨学金との併給不可（ただし海外留学支援の奨学金は併用は可） 大学独自の授業料減免は併用可	全国100名程度	月額12万円 (2027年4月～2029年3月)	※予備選考 11/13 (金) 午前10時	直接応募	財団等ホームページに掲載	
22-2	埼玉学生誘掖会（後期）	学部1年	・学業・心身ともに優良であり、学費の支弁が困難なもの ・学費を支弁する父兄の本籍または居所が埼玉県内にあるか、もしくは過去埼玉県内に本席または居所があったもの ・令和8年度の新入学生であること ・出身高校長の推薦を受けた者 ★日本学生支援機構奨学金、大学独自の奨学金及び授業料減免との併願・併給可。その他の併給は原則認めない。	学内1名推薦	年額：25万円 (最短修業年限まで)	10/30(金)	大学経由 (出願書類を奨学支援係へ提出してください)	奨学支援係ホームページよりダウンロード ※在学校の推薦書は大学で作成しますので提出不要です。 ※出身高校の推薦書は高校へ依頼してください（様式は高校の任意）	・懇談会及び研修会（年2～3回実施予定）に出席すること。 ・奨学生として決定したら、本会のOB会である「埼玉学生誘掖会友会」に入会する。

令和8年度(2026年度) 給付型奨学金

※大学経由で申請の場合、申請期限は募集要項に記載されている提出期限より早く設定されていますのでご注意ください。

2026/10/22

No.	募集团体名等	対象学生 ※2026年度時	応募資格等 ※詳細は募集要項を確認してください	募集人員	支給額 ※括弧内は給付期間	申請期限	応募方法	募集要項・願書等の取得 (財団等HPへのリンク)	留意事項
27	本庄国際奨学財団	大学院生	・日本国籍を有する者。 ・2027年4月時点で日本国内の大学院に在籍する者。または、2027年4月に入学を予定している者。 ・2027年4月時点で在籍期間が残り1年以上あるもの。 ・博士課程は、すでに在籍中の場合は35歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に35歳以下の者。 ・修士課程は、すでに在籍中に場合は30歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に30歳以下の者。 ※専門職大学院は原則的に対象外だが、研究計画書を提出できる場合は応募可。 ★下記以外の、他の奨学金と併給不可 ・日本学術振興会特別研究員 ・国立研究開発機構科学技術振興機構（JST）によるフェローシップ（JSTが他の奨学金との重複受給を認めているものに限る）	若干名	以下の金額と期間のうちいずれか (1)月額23万円を1～2年間 (2)月額21万円を3年間 (3)月額18万円を4～5年間 いずれも最終目標とする学位取得までの最短年限まで そのほかに国際学会に出席するための費用等	10/31(土)	直接応募 (財団HPより応募)	財団等ホームページに掲載	
32-4	篠原欣子記念財団 (学び応援一時金)	学部生	(1) 社会福祉系国家資格（保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士）または幼稚園教諭免許状の取得が可能な大学の学部等に在籍する修業年限以内の学年の者 (2) 応募時点で、上記（1）の資格または免許状を活かして、将来、社会福祉施設または幼児教育施設（それらに類する施設を含む）等での就業を志望している者 (3) 募集要項に記載された所得基準を満たしている者 ★他財団の奨学金制度受給者であっても応募可。ただし、当財団の奨学生である場合は応募できません。	150名程度	月額15万円 (一時金)	11/15(日)	直接応募 (10/1～受付開始)	財団等ホームページに掲載	
49-2	バロック村井博之財団	学部生 大学院生	【助成対象】 『衣』『食』『住』など生活に密着したサステナブルな社会発展に寄与する活動（研究・開発を含む） ※詳細は募集要項参照 【応募資格等】 ・日本国内に居住する者で、日本国内の大学（含む大学院）に在学する者 ・応募は主体的活動を行うグループの代表者が行い、同グループからの出願は1件までとする	全国5件程度	助成金額：1件上限80万円 ※助成期間：2027年4月1日～2028年3月31までの1年間	奨学支援係への推薦書作成依頼期限 11/3（火） 財団への出願期限 11/13（金）	直接応募	財団等ホームページに掲載	※推薦書については、財団に提出する書類全ての写しを添え、推薦書作成依頼期限までに奨学支援係窓口へ依頼してください。

令和8年度(2026年度) 給付型奨学金

※大学経由で申請の場合、申請期限は募集要項に記載されている提出期限より早く設定されていますのでご注意ください。

2026/10/22

No.	募集团体名等	対象学生 ※2026年度時	応募資格等 ※詳細は募集要項を確認してください	募集人員	支給額 ※括弧内は給付期間	申請期限	応募方法	募集要項・願書等の取得 (財団等HPへのリンク)	留意事項
92	一般財団法人TCS奨学会	学部生 大学院修士課程	・日本国内に居住し、日本国籍を有していること ・学部及び大学院修士課程に2026年度に在学しており、2027年4月時点で大学2年生から大学4年生又は大学院1年生、大学院2年生に進学・進級見込みであること ・最短修業年限で卒業見込みであること ・修得単位数が標準単位数以上で、直近の学業成績につきGPA（平均成績）が3.3以上であること ★他の奨学金との併給可 ※家計基準及び他の給付奨学金との併給状況に関する応募制限はないが、審査基準事項の一部となる。	全国で30名程度 (学部生、大学院生各15名程度)	月額：5万円 (2026年4月～2027年3月)	11/27(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
105	公益財団法人公益推進協会 (タクト奨学金)	学部生	・税理士・公認会計士資格の取得に専念している25歳以下(大学院生は対象外) の者 ・収入基準は募集要項を確認すること ・税理士志望者は、税理士試験2科目以上合格していること ・公認会計士志望者は、公認会計士試験を1回以上受験したことがあること	全国4名程度	20万円（一時金）	12/23(水)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
107	岩佐教育文化財団	学部生	経済的に就学が困難な大学生 ※大学院生は除く ★他の奨学金との併用可	20名	年額120万 (※1年毎の再選考により、更新継続する場合あり)	11/6(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
139	MIRAIASU育英財団	学部3年	・日本国籍を有すること ・経済学部 に所属する学部3年生であること ・応募締切時点で25才以下であること ・経済的な理由により学費の支弁が困難であること ★他の奨学金を受けている場合でも応募可能	全国10名程度	年額48万円 (2年間)	11/30(月)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
140	生涯学習開発財団 「博士号取得支援事業」	大学院博士 後期課程	・2026年12月31日時点で満50歳以上の者 ・日本国内在住者で大学院博士後期課程に在籍している者	全国6＝15名程度	年額50万円 (2027年3月支給予定)	12/4(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載	

令和8年度(2026年度) 給付型奨学金

※大学経由で申請の場合、申請期限は募集要項に記載されている提出期限より早く設定されていますのでご注意ください。

2026/10/22

No.	募集团体名等	対象学生 ※2026年度時	応募資格等 ※詳細は募集要項を確認してください	募集人員	支給額 ※括弧内は給付期間	申請期限	応募方法	募集要項・願書等の取得 (財団等HPへのリンク)	留意事項
埼玉大学基金 ①	MARELLI奨学金	右記のとおり	理学部・工学部の3年次生、または本学理工学研究科博士前期課程の進学が決定している4年次生。理工学研究科博士前期課程1年次生。 学業・人物ともに優秀で、経済的理由により学業継続が困難な者 ★他の給付型奨学金との併給は不可（授業料免除との重複は可）	学内3名	2026年度給付年額：30万円 給付期間：正規の修業年限(留学中は除く)まで。 学部4年次生は、本学博士前期課程に進学する場合、当該課程の正規の最短修業年限まで継続可能（応募資格・成績等の継続の可否判定があります）。	11/5(木)	大学経由 (出願書類を奨学支援担当係へ提出してください。)	奨学支援係ホームページよりダウンロード	
42	社会福祉法人さばうと21 「坪井一郎・仁子学生支援プログラム」	学部3・4年 大学院	日本に定住する外国にルーツをもつ学生で、2027年4月に大学3年生以上、または大学院に在籍していて、以下のa又はbに該当する者 a) 難民とその子など、本人/親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方 b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ方 ※既に日本国籍になった方も含む、在留資格が「留学」の方は対象外 ※主に理系の方を優先します ※大学院については、修士課程の方を優先します	20名程度	年額 大学院生：60～100万円 大学生：72～100万円 (2027年4月～2028年3月)	11/20(金)	直接応募	財団等ホームページに掲載	
45	荒井芳男記念財団	学部生	・2026年4月1日現在において、大学の1年生～4年生に在籍する者 ・学部、学科は機械系、工学系、化学系、電気系である者（生命化学、生物科学等を除く） ・2026年4月1日現在、23歳以下である者 ・2026年4月1日現在、日本国籍または日本の永住権を有する者 ・最短修業年限にて卒業の見込みがある者 ・学業優秀で経済的支援を必要とする者 ★他の奨学金等との併用可	全国35名程度	年額20万円	12/16(水)	直接応募	財団等ホームページに掲載	